



オイルジェッター
取扱説明書

OILJETTER

OT FATECH オイルジェッター

シリーズ
一覧



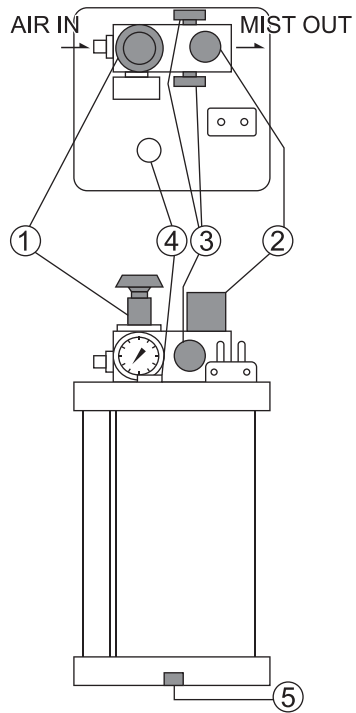
OJ-2 コンパクトタイプ



OJ-4 スタンダードタイプ

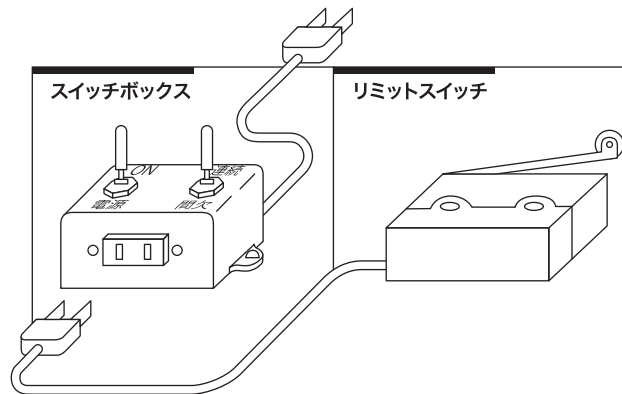


OJ-10 ビッグタイプ



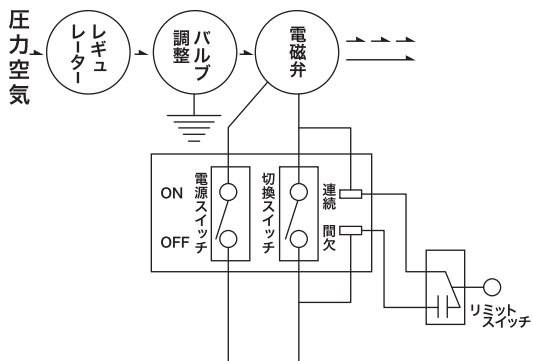
オイルジェッター概要図

オイルジェッターの概要図になります。次頁以降の説明と併せてご覧ください。



1 使用圧力

レギュレーター（2頁図①）の調圧ハンドルにて任意の2次圧力（ゲージ目盛）に合わせて下さい。



2 スイッチボックスと噴射作用

電磁弁（2頁図②）は電通開型の100V・200V・DC24V用を使用しています。（必ず使用する電圧を確認して下さい。）電源からの回路は回路図の通り電源スイッチONにて操作スイッチを連続側に入れると連続噴射を行います。

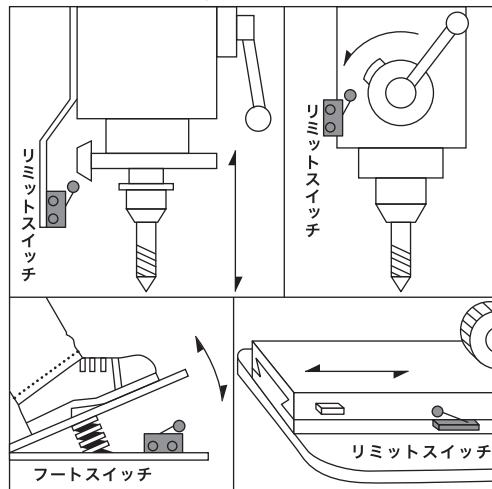
電源スイッチ ON にて操作スイッチを間欠側に入れた場合リミットスイッチを図のようにセットすれば同リミットスイッチの作動時（通電になった時）のみ噴射を行います。

これはあらゆる機械の回転軸、往復駆動テーブル、フートスイッチ等の駆動ドッグ作動により必要な時間だけの自動噴射を行い省電力化と経済性に大きな効果をあげられます。尚、外部信号を直接電磁弁に接続して頂いても結構です。

3 オイラーと噴出油量の調整

調整バルブ（2頁図③）はニードル絞り弁を採用しています。

■リミットスイッチ取付例



①背面バルブによってオイルとミストとの切換ができます。（背面のバルブを右一杯迄締め込んだ状態—オイルのみ、2回転戻した状態—ミスト）

②前面のバルブは右一杯まで締め込んだ状態—エアのみで左にまわすにつれてミストが濃くなります。

※2次圧力がかかった状態で前・背面のバルブを2回転以上戻さない事。バルブが外れタンク内のオイルが溢れ出てくる事があります。清掃・修理の際、バルブを外す時は2次圧が0になっている事を確認して下さい。

4 給油口及び排油口

給油口プラグ（2頁図④）はタンク気密を保つためにOリングを使用しておりプラグ挿入の際にはゴミ・切粉等を咬まないよう又、必要以上に強く締め付けしないで下さい。

ドレーンプラグ（2頁図⑤）に関しても同じくOリングを使用しており同様の注意をお願いします。給油口・排油口操作の時は必ず電源スイッチを切り、エア源を止めタンク内の圧力を抜いた状態で行って下さい。

5 効果的な使用方法

冷却効果

孔あけ加工、タッピング加工、旋削加工時の工具刃先の冷却は油のみの冷却の場合より、冷却効果がよく、これは工具寿命を延ばすだけでなく切削粉咬み込み等による仕上げ面の荒れを防ぎ加工面粗度を良好にします。

経済効果


従来からの流出式冷却では切削屑に多量の油を付けたまま廃却されておりますが、必要限度のミスト冷却（噴霧冷却）により油の使用量は非常に低くなる事が明白です。又必要時のみ噴射（間欠噴射）により作業者の不注意による無意味な油使用がなくなります。

6 標準附属品

- ロート ×1
- リミットスイッチ ×1
- リミットスイッチ取付金具 ×1 セット
- ホースジョイント ×1

⚠ ご注意

- 粘度の非常に高い油、危険物、有機溶剤を含む揮発性油、薬品（酸性・アルカリ性）、水等は使用不可能です。ご不明な点があればお問い合わせください。
- 電気設備の技術基準を定める省令・第10条に基づき、接地（アース）工事を必ず行ってください。
- 水溶性の切削油をご使用の時等にオイルジェッター本体を噴射口の近くに置いた為にスイッチボックスから漏電又はボックス内でのショート等の事故が考えられますのでご注意ください。
- タンク内の清掃は定期的に必ず行ってください。

 OTファテック株式会社

〒532-0033 大阪府大阪市淀川区新高 1 丁目 2 番 25 号

Tel. 06-6396-1151 Fax. 06-6396-1158